

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		教育研究機関の化学物質の総合的管理法に関する研究			
研究テーマ (欧文) AZ		Study on the integrated management method of chemicals in educational and scientific institutions			
研究氏 代表 者	カナ CC	姓) キノシタ	名) トモミ	研究期間 B	2008年11月13日～ 2009年11月30日
	漢字 CB	木下	知己	報告年度 YR	2010年
	ローマ字 CZ	Kinoshita	Tomomi	研究機関名	NPO 教育研究機関化学物質 管理ネットワーク
研究代表者 CD 所属機関・職名		NPO 教育研究機関化学物質管理ネットワーク・理事長(代表)			
<p>概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)</p> <p>化学物質が関わる環境問題や多くの事故の再発防止には、化学物質の総合的な安全適正管理が必須である。率先して行うべき教育研究機関の化学物質管理方法について検討した。全国の多くの大学等における現状の問題点が、下記のように明らかになり、解決に向けた対策を具体化し、実行中である。</p> <p>[1] <u>大学等における化学物質の管理方法について</u> [現状] 化学物質の保管庫単位、教職員単位等の「個別管理」は、ほぼ全てで実行されているが、キャンパス、建物等の全体の総合的状況が、随時、把握可能な「総合的管理」の行われている大学等は少数に限られている。総合的管理の実施に際して、管理方法の未確立、人材不足、大学等相互の相談、情報提供、支援等を行う組織の不在、情報交換の不足等が共通の問題である。 [総合的管理の特長・問題点] 実施大学等の実績から、総合的管理の特長、システム管理の最適方法等が判明した。一方、化学物質市販製品データベースの不在が深刻な問題である。 [成果] 総合的管理が教育研究基盤に欠かせないことから、従来の個別管理に代わり、総合的管理の実施促進が急務である事が確認された。共通問題の解決策として、全国の主な大学等が協力して、共同利用化学物質市販製品データベースを創製し、2009年末から利用を開始している。</p> <p>[2] <u>大学等における化学物質の管理規則について</u> [現状] 国等の化学物質管理の法規類に、大学等の実状に合わないものが少なくない点や、ほとんどの大学等で、総合的管理規則が定められていない現状が明らかになった。</p> <p>[3] <u>大学等における化学物質による事故、ヒヤリハット、環境汚染発生の把握状況について</u> [現状] 発生状況の系統的な把握、データベース化が、一部で始められている程度である。 [成果] 上記の問題解決のため、大学等の相互の情報交換、協力に向けた組織が2009年秋に新設され、活動を始めている。</p> <p>(783字)</p>					
キーワード FA	化学物質管理	化学物質総合的管理	システム管理	化学物質	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	教育研究機関の化学物質管理ネットワークの設立—化学物質の総合的管理の促進支援事業—							
	著者名 ^{GA}	木下知己、戸野倉賢一、矢野倉実	雑誌名 ^{GC}	環境と安全					
	ページ ^{GF}	6（印刷中）	発行年 ^{GE}	2	0	1	0	巻号 ^{GD}	No. 9
雑誌	論文標題 ^{GB}	環境安全に向けた科学技術者の社会的責任							
	著者名 ^{GA}	木下知己	雑誌名 ^{GC}	化学物質と環境					
	ページ ^{GF}	11～12	発行年 ^{GE}	2	0	0	9	巻号 ^{GD}	No. 95
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}	木下知己							
	書名 ^{HC}	日本分析化学会編集編、環境分析ガイドブック、第2章第8節、化学物質の安全適正管理							
	出版者 ^{HB}	丸善株式会社	発行年 ^{HD}	印刷中	初校済			総ページ ^{HE}	4
図書	著者名 ^{HA}	木下知己							
	書名 ^{HC}	化学ファンダメンタルシリーズ編集委員会編、化学ファンダメンタルシリーズ、第2章、安全化学（化学物質の管理）							
	出版者 ^{HB}	丸善株式会社	発行年 ^{HD}	印刷中				総ページ ^{HE}	10

欧文概要 EZ

The integrated safety management of chemicals is indispensable for prevention of environmental problems and accidents which will be caused by chemicals. However, the management method of chemicals had not been established for educational and scientific institutions. We have studied on the integrated management method of chemicals to show the merits and the problems in educational and scientific institutions as follows.

[1] The merits and problems of the integrated management method of chemicals in educational and scientific institutions

[2] Problems concerning chemicals management rules in educational and scientific institutions

[3] Problem on summing up of accidents, incidents, and pollution of the environment by chemicals in educational and scientific institutions

The liaison conference started for information exchange on the chemicals management for educational and scientific institutions.